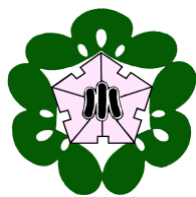


教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子  
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子



学校だより

# 高松

令和3年9月30日 10月号発行

立川市立第五小学校

校長 藏重 佳治

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238~9

042-523-5230 (こだま学級)

FAX 042-529-0854

HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es05/>

## もう一度 見つめ直してみましよう

校長 藏重 佳治

1学期に引き続き、最近パークホームズ立川前の交差点に立って、子供たちの交通安全の見守りをしています。随分と秋らしい陽気となり、とても気持ちよく、子供たちとの朝の出会いを迎えることができます。また、子供たちが元気な声であいさつしてくれると、私まで元気になっていきます。そう考えると、我々教師は、エネルギーを享受してくれる子供たちに感謝しなければなりません。



そこで、4年前の学校だよりに掲載した「詩」を改めて掲載したいと思います。是非ご一読いただき、子育てについて、もう一度見つめ直してみませんか？

右の詩は、読売新聞の編集手帳に記載された詩です。我が子の寝顔を見るだけで、日頃の疲れや悩みなどが吹き飛ぶ親心を例に挙げ、様々な人間関係においても、優しい声掛けや相手を思いやる行動により、どれだけ人は勇気や元気をもらえるのかを語った詩です。私自身、これまでの子育てを振り返ってみても、2人の娘から、どれだけたくさんの勇気や元気をもらったか計り知れません。本当に子供には感謝・感謝です。この詩との出会いを機に、自身の子育ても見つめ直したいと思います。

さて、保護者の皆さんはいかがでしょう。日頃の生活の忙しさから、つついお子さんのマイナス面ばかり指摘したり、叱ったりすることが多くなってはいませんか。

子供たちにとって、家庭での「親と子の関係」の中で、そして学校生活での「先生と児童の関係」の中で、「悩みがふと軽くなるような たった一つの励まし」が、親からそして先生から注がれたら、きっと子供たちは、明るく元気に育っていくことと、間違いありません。もう一度、子育てについて見つめ直してみましよう。

コロナ禍で、まだまだ不安な日々を過ごすこととなりますが、様々な不安から解き放たれたご家庭でのぐっすりと眠りにについているお子さんの寝顔を眺めてみてください。純真無垢なその表情から、我々大人の方が明日への勇気や元気をもらえるかもしれません。

読売新聞 編集手帳より

我が子の寝顔をみつめるだけで  
悩みがふと軽くなることがある  
そういう経験はだれでもあるだろう  
心の算数はいつも不思議である  
十の重荷を支えるためには  
十の助けが必要かといえば  
そうとも限らない  
たった一の励ましが百の重荷を  
軽くしてくれることがある